

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	〔7000〕(国保)国民健康保険支所事務			
予算科目	1 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 保健・医療の充実			
所管課情報	担当課: 中山地域事務所 電話番号(内線): 967-1111(121)			
記入者情報	所属長: 仙波 久志 担当責任者: 岡市 眞矢			
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	主に中山地域管内に住所を置く、国民健康保険資格者(後期高齢者含む)			
根拠法令等	国民健康保険法			
事業の目的	住民に最も身近な窓口という立地条件の地域事務所で国民健康保険(後期高齢者医療含む)に関する各種申請及び届出を迅速に実施することにより、地域住民の満足度、利便性の向上を図る。			
事業の内容	国民健康保険(後期高齢者医療含む)の相談業務・各種申請書の受付等(資格異動・被保険者証交付・療養費等の支給申請関係)			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	本庁所管課と連携を密にし、窓口業務の効率化を図るため、グループ制を活用し職員の専門的知識のレベルアップに努めた。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	0	0	0	0
	人件費	1,138	1,511	715	1,511
	合計	0	1,511	715	1,511
人件費 内訳	人工数	0.14	0.19	0.09	0.19
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,138	1,511	715	1,511
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	1,138	1,511	715	1,511

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
国民健康保険資格異動関係	件	189	150	52	120
被保険者証の交付関係	件	131	105	28	63
療養費等の支給申請関係	件	439	380	211	459
その他申請関係等	件	192	140	70	130

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	0	0	0	0	0	0

成果指標				
成果指標	本業務は、国民健康保険(後期高齢者医療含む)に関する窓口での相談や事務処理等といった内容であり、申請や請求、届出等の総件数を計上する。			
指標設定の考え方	業務の性格が住民の申請や請求、届出等に基づき発生することから、目標となる成果(活動)指標の設定が困難であるが、参考として窓口での処理件数の実績を記載した。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	775	775	755	0
実 績	951	772	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	受付件数・申請件数等は、増加しているが限られた職員数であるため、今後も住民サービスの低下にならないよう迅速的確に処理するとともに事業推進を図る。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	行政が行う基本的な業務の一つであり、各種申請の受付など市民の生活に直結する事務である。本庁所管課と連携を密にし、日頃から制度知識の取得と併せて職員同士が業務マニュアル内容の理解に努め、来庁者からの疑問、問い合わせ等に対し迅速かつ丁寧な対応ができるよう、より一層情報の共有化及び連携を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	